

他人(初期化する場合)

山口茜

登場人物

犬

マイコ1

マイコ2

ミチコ||緑レンジャー

エリコ||桃レンジャー

青レンジャー

シズエ||ミチコの夫

マスジロウ

工場長||院長

老人たち

プロローグ

隔離された部屋でバナナを食べている
年若い男。また別の部屋では年若い
た女が、バナナを食べながらウロウロ
と歩き回っている。

ここはバナナ工場。口の周りと首の辺
り、手から手首にかけて真っ赤に染ま
った下着姿のマイコが見えた。そこへ
工場長が現れる。

工場長 年は？

マイコ2 8歳です。

工場長 使用しているシャンプーの名前は？

マイコ1 メリット

工場長 フケと痒み？

マイコ2 ビダルサスーン。

工場長 どっちですか？

マイコ2 ビダルサスーン。

工場長 趣味は？

マイコ1 食べることに決まってるでしょ私はさあ、

マイコ2 映画鑑賞です。

マイコ1 手からしたり落ちる腐った苺の色を鑑賞す
るの。

工場長 最近見た映画は？

マイコ2 アメリ。

マイコ1 苺ひとつ、苺ふたつ、苺みつ。

マイコ1 (笑って泣いて) 酔っ払いがヘルスに行った感想って感じ？

間

工場長 真面目に答えてくださいね。

マイコ2 ごめんなさい。

工場長 その腕に潜り込みたいと思う男のタイプは？

マイコ1 頭から血を垂れ流して死んじゃったおやじ。

工場長 老人の未来についてどう考えますか？

マイコ1 墓場だよね。

工場長 死ぬことは生命の進化であるという意見について。

マイコ1 だったら焼き殺さないで。

間

マイコ1 焼いちゃったら何もかもなくなっちゃうから。

工場長 ハルピンの空は、どんな風でした？

マイコ2 おととい食べた、

マイコ1 あざらし！

工場長 あざらし？

マイコ1 豚肉と変わらないの。変な味。

マイコ2 例えばの話です。

工場長 そう。

マイコ1 豚バラはね、白ネギと油で炒めるの。真青な空にドデンの腹。あざらしなんて豚肉以下。

工場長 あざらしは豚肉と変わらないんじゃないんですか？

工場長

そう。

マイコ2

本当は、おととい食べた黄色いバナナのような、ほそながあいお星様がキラキラキラ光ってました。

マイコ、工場で働く人々に服を着せられ始める。

スライド「バナナを食べることがセックスをすることと仮定すると」

人々。持っていたバナナを放り投げる。

スライド「バナナを食べ終えた瞬間、女は服を着終える」

人々。マイコから遠く離れていく。

スライド「男は眠気に襲われ」

マイコ、捨てられたバナナの皮を見つめる。

スライド「女はひとりつぶやく」

マイコ1 お腹一杯なのはお前だけなんだよ。

バナナを食べる人々が歩き回る。マイコはその中に紛れて歩き始める。

そこへ後をつける工場長。バナナをた
くさん乗せたリヤカーを引いて登場。

工場長 マイコちゃん！マイコちゃん！

マイコ2 はい。

工場長 眼鏡しなさい眼鏡。

マイコ2 え？

工場長 ほら（と眼鏡を渡す）。外歩く時は眼鏡しなさい
いゆうてるでしょ。

マイコ2 ごめんなさい。

工場長 目立つんやから。

マイコ1 誰が？

工場長 あんたに決まってるやないの。

マイコ2 え？

工場長 ほら。みんなこっち見てる。

マイコ1 そのリヤカーが目立ってるんじゃないの。

工場長 ……。

マイコ2 ごめんなさい。

工場長 私うれしいの。

マイコ2 何が？

工場長 私うれしいの。ミメ麗しき乙女の、ハリユピン
バナナによる全国デビュー。

マイコ1 なんかかっこわるいな。

工場長 どころが。

マイコ1 ハリユピンって。

やないの。崇高やないの。ハリユピンゆうたらマイコ思い出す。マイコゆうたらバナナ思い出す。切っても切れない密接な関係性こそ小売業者の鉄則よ。

マイコ2 うちら小売業者やったん？

工場長 こういいうのを関連陳列ゆうんよ。苺の横に練乳を置く。うどんのよこに刻みネギを置く。バナナの横にマイコの下着姿を飾る。

マイコ2 なんか、

マイコ1 かつこわるい。

工場長 バナナは果物の王様なんよ。

間

マイコ1 それいつの話？

工場長 コマーシャルできたわ。見る？

工場長が合図するとCMが流れる。ハリユピンバナナのCM。下着姿の女とバナナを食べる男。

テロップ 「バナナを食べることをセックスすることと仮定すると」

テロップ 「バナナを食べ終えた瞬間女は服を着始める」

テロップ 「男は眠気に襲われ」

テロップ 「女はひとりつぶやく」

下着姿の女 「バナナはやっぱハリユピン産」

CM終わる。

工場長 このコマージュナルで一気にはくがつくよ、ハリ
ユピンバナナ。

マイコ1 なんでバナナのコマージュナルで服ぬがなあかん
の？

工場長 え？

マイコ1 なんでバナナを売るのに下着姿にならなあかん
の。

工場長 ええ？

マイコ1 ええ？

工場長 バナナよ？バナナよ？だから脱ぐの。

マイコ1 え？

工場長 私、今からこのバナナの査定しにいつてくるか
ら。

マイコ1 ……

工場長 ちよつとここで待ってて。すぐ迎えに来るから。

工場長から出たらあかんよ。眼鏡！はずしたらあ
かんよ。

工場長、去っていく。

マイコ1 私ハルピン生まれやのに。

マイコ2 いい加減にして。

マイコ1 え？

マイコ2 いちいち間に入ってこんといて。

マイコ1 怒ってる？

マイコ2 当たり前やろ。

マイコ1 でも私ハルピン生まれやのに。

マイコ2 ハルピン、ハルピン、ハリユピン、フィリピン

！

マイコ2　でしよ。それが狙いやねん。

マイコ1　狙いちやうやん。パクリやん。

マイコ2　人聞きの悪い事いわんといてよ。

マイコ1　じゃあこれは？私が服脱ぐ姿を見て、なんでバナナ食べたいつて思うの？・

マイコ2　バナナよ？バナナよ？だから脱ぐの。

マイコ1　答えになつてない。

マイコ2　答えなんて誰も求めてないの。みんなが見てくれたらいいの。注目浴びて、みんながバナナを買ってくれたらあとはこっちのもんよ。

マイコ1　こっちのもんつて？

マイコ2　こっちのもんはこっちのもんなの。とりあえずバナナ売つときやいいの。

マイコ1　そのバナナがどんな味でも？

マイコ2　どんな味でも。そのバナナ食べてガンになっても私たちには関係無いの。

マイコ1　バナナを食べてガンになるなんてことは絶対無いよ。なぜならバナナにはもともとマクロファージという白血球が多く含まれていてね、活性化されると腫瘍壊死因子、すなわちTNFという物質を作り出してね、ガン細胞を破壊する機能が備わっているの。聞いてる？

マイコ2　そんな眠たくなるよな話しんといて。

マイコ1　……

マイコ2　王子様！姫！ぶちゅ！！そういう話がいい。

マイコ1　バナナには生殖機能が備わつてないのよ！

マイコ2　え？

マイコ1　私らが売ってるのは、種なしバナナ。人間が自分の都合のいいように作った、奇形のバナナな

マイコ2 いきなり何言い出すの？

マイコ1 帰る。

マイコ2 ちよつと待って。どこに帰るの？

マイコ1 ハリユピン。あれ？

マイコ2 ハリユピンってどこ。

間

マイコ2 歩いてても歩いててもね、ここは永遠にバナナ工場。種の無いハリユピンバナナを一生懸命作って、種の無いハリユピンバナナから生まれた種の無いハリユピンバナナを私たちはホンモノのバナナだと言って、売るしか無いの。

マイコの元へ、一人の老人がやってくる。彼は車椅子から手を伸ばして何かを拾おうとした。

犬の飼われている家。居間では、テレビを見ているミチコの隣に犬が座っている。

犬

こんにちは。僕は、犬です。種類は何かようわかりません。お母さんはゴールデンレトリバーです。でもお父さんが何かわかりません。お母さんは、「お父さんはチワワだったのよ」と言っていました。チワワとゴールデンレトリバーがどうやって交尾するんか、僕にはようわかりません。交尾はメスのお尻のところへんにオスのここらへんをつけなあかんと思うんですけど、メスがチワワならともかくオスがチワワやから、やっぱり交尾の時はお父さんがお母さんのお尻にくつついて、こう、宙に浮いた感じでやっつたんでしょか。そんなことはどうでもいいです。僕は犬に生まれてまあ良かったかなあと思っています。僕の住んでいる家の人たちを見ていたら、つくづく、つくづくそう思います。テレビ聞こえへん。ちよつと静かにして。

ミチコ
犬

……

ミチコ、泣き出す。

ミチコ はあ……。

犬 ため息ついた。

ミチコ そうか。

犬 わかった。

ミチコ でも私には無理やわ。

犬 あきらめた。

ミチコ 結婚式で永遠の愛を誓ったし。

犬 永遠の愛ってなに？

ミチコ あんたはええなあ。

犬 なあ、永遠の愛って何？

ミチコ できひん。私にはそんなこと、できひん。

犬 もしかして、別れたいと思ってるの？

ミチコ これはドラマの中のお話やもん。

犬 なあ、別れたいと思ってるの？

ミチコ ドラマと現実は違うもん。

犬 なあ！

ミチコ ……太郎、あんたわかってるんやな、私の思ってること。大丈夫やで。

犬 ……。

ミチコ 離婚なんか私、ようせんから。

犬 お前はあほか。

ミチコ え？

犬 今は三人に一人が離婚しとるわ。はっきりゆうときます。永遠の愛なんかありません。

ミチコ どしたん太郎。

犬 (舌打ちする)

ミチコ 太郎が舌打ちした。なあ、太郎が舌打ちしたよ！

犬 散歩に連れて行け。

犬 僕を散歩に連れて行け！

ミチコ、犬を連れて散歩にでかける。

ミチコ いい天気。散歩日和やね。どこ行こう。

犬 お前はええよな。天気の良いときだけ僕の散歩についてくるんやから。

ミチコ だって太郎はおばあちゃんの犬やもん。

犬 おばあちゃんは雨の日も風の日も僕を必ず散歩に連れて行く。

ミチコ それしか楽しみが無いからね。

犬 おばあちゃんは僕さえおったら他になんもいらん言うとする。

ミチコ いらんというより無いから、何も。

犬 それでも家族か？僕らそれでも家族か？

ミチコ 実際わからへんよ。自分とあの人のこと、どっちのことが大切なのか。

犬 いきなり自分の話か。

ミチコ 私自身、あの人の何に惚れてるのか、ほんまにわからへんよ。あの人の絵を描く姿に惚れたのか、私を好きやと言ってくれたから惚れたのか。

犬 きっぱり別れたらええやん。

ミチコ そんなん悪いわ。

犬 悪いのはお前の頭じゃ。

ミチコ 両方うまいこと大事にできたらええねんけどなあ。

犬 ここどこやねん。

ミチコ 工場や。バナナ工場。

ミチコ え？

犬 三十分後に迎えに来いゆうとんねや。わからんやっちなほんまに。

ミチコ、犬を置いて去る。犬、ミチコの後姿を眺めながら。

犬

僕は犬に生まれてよかったと、つくづく思います。つくづく、つくづくそう思うのです。本当に大切なのは、空。太陽の日差し。暖かい空気。一面に広がる春の雲。

寝転んだ犬の顔を覗き込んだ一人の老婆。彼女は何も言わず、再び歩き出した。その後についていく犬。老婆が立ち止まったその先には老人マスジロウの姿。

マスジロウ 今日からSさんの担当になった。Sさんは軽度のアルツハイマー病患者だ。彼女はもう一年間風呂に入っていないという。また、男性患者とも一切口をきかないことで有名らしい。風呂と男性を極端に嫌がる女性。どんな人かと思っただが、会ってみると意外にもよくしゃべる、やさしそうなおばあさんだった。

老婆、マスジロウの伸ばした手の先にある何かを代わりに拾う。と同時に犬がマイコに気がつく。

犬 うわ！

マイコ1・2 うわ！

犬 誰？

マイコ1 それはこっちのセリフじや。

マイコ2 どっから入ってきたの？

犬 いっぺんにしゃべらんといて！一人ずつ。

間

マイコ2 え？

犬 だから、一人ずつ。お願いします。

マイコ2 ひとりしかおらへんよ？

犬 二人やん。

マイコ2 一人やで。

マイコ1 病気やなこの犬。

犬 ええ？

間

犬 ちよつと、数えさせて。一人二人ほら。

マイコ2 疲れてるんよきつと。

マイコ1 疲れてる時つてもものが二つに見えたり、せえへ

んよなあ。

マイコ2 だいぶ疲れてるんよ。

マイコ1 だいぶ疲れてても一人の人間が二人に見えるな

んて事は無いよなあ。

マイコ2 あるんかもしれへんやん。

犬 (マイコ2に) 今自分がしゃべってる相手は誰
？

犬 え？

マイコ1 なあ。バナナのコマージュルするのにな。

犬 はい。

マイコ1 なんでバナナのコージュルするのに、服脱がなあかんねやろ。

犬 え？

マイコ1 私なんで服ぬがなあかんねやろ。

マイコ2 また始まった。なぞなぞの方程式、解こうとしてるんよ。

マイコ1 女の下着姿プラスバナナイコール。

マイコ2 バナナがよく売れます。

マイコ1 わからへん。私はなんで服を脱いでるのか、わからへんの。

犬 僕は君らが一人やって事がわからへん。

マイコ2 一緒に考えてあげて。

犬 あ、はい。

マイコ1 つまり私はね。

間

マイコ1 この眼鏡あげるわ。さっきのおばさんがきたら、

マイコは犬になりました、ってゆうといて。

犬 マイコ？

マイコ2 私の名前！

犬 ええ？？

マイコ、去っていく。

犬 むちやくちやや。

工場長、現れる。

工場長

あれ？マイコは？

犬

マイコは犬になりました。

工場長

へえ。不思議やねえ。

犬

……

工場長

なるかい。

犬

すいません。

工場長

どこいったんや。

犬

わかりません。

工場長

ほんまにもう。ちよつと、眼鏡返して。

犬

はい。

工場長

あんた、見慣れへん犬やね。

犬

あ、はい。今日は散歩にきました。

工場長

マイコどこ行ったんやろ。

犬

さあ。

工場長

お姉さん、今からバナナつくりにかかなあかん
のよ。でもその前にマイコを連れていかなあか
んのよ。

犬

マイコちゃんって何してる人なんですか？

工場長

そんなことあんたの知りうる範疇ちやうやろ。

犬

すいません。

工場長

マイコ、どこいったんかな。

犬

あ。

工場長

ん？

犬

マイコは眼鏡になりましたとか。

工場長

……

犬

どうでしょう。

工場長

どうもくそもあるかい。

工場長 マイコが戻ってきたら、若いきれいなお姉さんが角出して怒ってた、ゆうといてくれる。

犬 ええ？

工場長 キレイなお姉さんは、好きですか？

工場長去る。

犬 むちやくちやや。

マイコ再び現れる。

マイコ1 上手くいったね。

犬 あの、若いきれいなお姉さんが角出して怒ってました。

マイコ1 誰の事？

マイコ2 さあ。

マイコ1 とりあえず、帰る方法を考えよう。

マイコ2 帰るの？

マイコ1 あんた、まさかこれからもずっとバナナのコマ
ーシヤルに出つづけるつもり？

マイコ2 ……わからん。

マイコ1 でしょ？

マイコ2 出るんかもしれへんけど出えへんかもしれへん
てことよ。

マイコ1 つまりわからんことはしつづけたらあかんのよ。

マイコ2 でも出えへんかもしれへんけど出るんかもしれ
へんのよ。

マイコ1 もう！わからへん！

犬 これって、

マイコ1 そうやここの工場の地図や。今私たちはここに
いるから、あれ？

犬 あの。

マイコ2 どうしたの？

犬 僕、きれいなお姉さんに頭叩かれました。

マイコ2 よしよし。

マイコ1 おかしい……。どこにも出口がない。

マイコ2 痛い痛い、飛んでいけ。

犬 あ！イタイイタイ鳥が飛んでいく。

マイコ2 ほんまや！パタパタつて。

犬 いや、バツサバツサ、

マイコ1 おい犬！

犬 ……

マイコ2 名前なんていうの？

犬 ……

マイコ2 名前。無いの？

犬 うん。

マイコ2 じゃあ、チャツピーにしよう

マイコ1 なんでやねん。

マイコ2 いや？

犬 いやじゃないけど。

マイコ2 ないけど？

犬 まさかそんな愛らしい名前をつけられるとは。

マイコ2 かわいいやろ。チャツピー。

犬 はい。

マイコ2 チャツピー。

犬 あ、段々自分がチャツピーっていう気、してき

マイコ2 チヤッピー。

犬 はい！

マイコ1 チヤッピー

犬 はい！

マイコ1 どう見てもチヤッピーじゃないよなあ。

犬 ……

マイコ2 そんな事いわんといたげて。

マイコ1 チヤッピー、どっから入ってきたん？

犬 え？

マイコ1 ここに。どっかに入り口があったんやろ？この地図にはないねん。

犬 何か？

マイコ1 出入り口。

犬 ……

マイコ1 なあ。どこから入ってきたん。

犬 ……

マイコ1 なあ！

犬 ……

マイコ1 急に黙り込んだ。

犬 マイコちゃん。

マイコ2 ん？

犬 あなたがマイコちゃんだとしたら、あの方は誰？

マイコ2 マイコちゃん。

犬 じゃあ、二人マイコちゃんがいるということ？

マイコ2 バナナ工場でハリユピンバナナのコマーシャルに出てるマイコちゃんはマイコ1人やで。

犬 わからへん。

マイコ2 疲れてるのよ。

マイコ2　じゃあ寝起きなんよ。

犬　寝起きちやう。

マイコ2　じゃあ筋肉痛なんよ。

犬　あ、そういえば昨日運動し過ぎたかもしれへん。

マイコ1　もう、聞いてんの！？

間

マイコ1　どこから入ってきたんって聞いてるねん。

犬　……

マイコ　あかんわ。所詮犬は犬や。

マイコ、地図を見る。

犬　あの人のこと、嫌いなん？

マイコ2　あの人って？

犬　リヤカー引いてる女の人。

マイコ2　別に。

犬　じゃあなんで隠れるの。

マイコ2　あの人のこと別に嫌いじゃないよ。あの人の作るバナナはおいしいし、マイコはそのバナナを食べて育ってきたから。

マイコ1　でも、下着になってバナナ売るのが、よくわからへんの。しかもハリユピンってどこよ。

犬　……

マイコ2　ほんとのこと言うと、マイコあの人のバナナの味しか知らんから。おいしいのかどうかはよくわからへん。

犬　あの人のバナナって、あの人がバナナ作ってる

マイコ2 うん。

犬 輸入じゃなくて、ここで作ってるの？

マイコ2 あ、これ言ったらあかんかった？

犬 でもさつき、ハリユピンバナナつて、……あれ？

マイコ1 それはただの名前。山口っていう苗字の人が山

口県出身とはかぎらへんやろ。

犬 ハリユピンは苗字やったんか。

マイコ1 全国バナナの75.3パーセントはフィリピンからの輸入やねん。19.5パーセントはエクアドル、3.9パーセント台湾、その他メキシコ、ドミニカ、中南米、ハワイ。

犬 実は僕、

マイコ1 人の話を最後まで聞け！

犬 はい。

マイコ1 つまり最もポピュラーなフィリピンという国の名前をつければバナナは売れるという計算から、フィリピンバナナに似せたハリユピンという名前をつけられたと私は分析しているの。

マイコ2 分析というより受け売りなんやけどね。

犬 へえ。食べたと思う？ハリユピンバナナとか。

犬 食べたくない。

マイコ2 ええ？

犬 ……え？

マイコ2 じゃあなんで今チャツピーは、マイコと一緒にいるの？

犬 どういうこと？・

マイコ2 マイコ、食べ物はバナナしか持ってないよ。チ

いるんでしょ？

犬 ……え？

マイコ1 違うの？

犬 あれ？

マイコ2 どうしたん？

犬 人を好きになるとか、恋するとかいうのは大嫌いなんや。ぬるつとしてて、せやのに中身はパサパサで、中途半端で、考えただけで腹立ってくる。

マイコ1 あれ？それちよつと待って。

犬 正しいと思って始めた計算が、最後は絶対謎だらけになる。

マイコ2 それってハリユピンバナナの味やん！犬だけどえさヌキで、犬が人に恋するなら、

マイコ1 ……

犬 バナナみたいな謎は絶対にうまれへん気がして。

マイコ1 マイコのこと、好きなん？

間

犬 そうや、今度はマイコちゃんがここにおって。女の人が僕を迎えにきたら「犬はマイコになりました」ってゆうて。

マイコ1 無理。

犬 お前にゆうてへん。マイコちゃんにゆうてんの。

マイコ1 お前って誰のこと？

マイコ2 マイコは犬にはなれへんよ。

犬 なんで？

マイコ1 だってばればれやもん。

マイコ1 だから頭叩かれたんでしょ。

犬 ひどい。

マイコ2 そうか、犬と人間やったら一心同体にはなれるかもね。

マイコ1 なんで？

マイコ2 だってマイコは犬にはなれへんけど、ふたりが一つになったら面白いやん。

犬 マイコちゃん。

マイコ1 面白くつてもなれへんもんはなれへんのよ。

マイコ2 また明日会おう。マイコ、明日もここに来るか
ら。

マイコ1 今日はひとまず警備室に隠れるか。

犬 マイコちゃん。

マイコ2 また明日。

犬 うん。

マイコ1 そうや。何で首輪してるの？

犬 え？

マイコ2 首輪。なんでしてるの？・

犬 犬やから。でも大丈夫。飼い主とは、食べ物をあげるもらうの関係でしかないから。

マイコ2 (笑って) バイバイ。

マイコ、去る。

犬 僕はこれから毎日この工場に散歩に来ることを予定に入れます。しかしここは一応工場なので人と歩いていないと不審に思われるので。

ミチコ、現れる。

犬 お前は毎日僕をここに連れてくることを今決めます。

ミチコ 迎えに来たよ。

犬 迎えに来たとか言うな。僕はお前のなんやねん。犬？

犬 そうや。だからお前は今日から僕をここに毎日連れてこなあかんのや。

ミチコ 毎日？

犬 毎日。

ミチコ それはかまへんけど、かまへんけどなんや。

ミチコ おばあちゃん、おこらへんかな。

そこへリヤカーを引いた工場長、登場。

工場長 ミチコさん。

ミチコ あ、おはようございます。

工場長 この犬、あなたのところの犬？

ミチコ そうです。うちのおばあちゃんの犬で。

工場長 マイコちゃん、どこに行ったか知らん？

犬 ……

工場長 返事せえへんね。

ミチコ 一応、犬なんで。

工場長 マイコがね、いなくなったんです。

ミチコ え？

工場長 今日出勤ですか？

ミチコ はい、夕方から。

工場長 じゃあもし会ったら、すぐに私に連絡してください。

工場長、去っていく。

ミチコ

形相変えたはるねえ。

犬

お前今から仕事なんか。

ミチコ

うん？

犬

ほんなら仕事終わったら迎えにきてくれ。

犬、走り出す。

ミチコ

太郎！

犬

太郎って呼ぶな！

犬、走り去る。

ミチコ

ええ？

バナナを持った人々が現れる。ミチコを一人残し歩き始める。

人々、バナナを食べ始める。

スライド「バナナを食べることが恋をすることと仮定すると」

人々、バナナの皮を放り投げる。

スライド「バナナを食べ終えた瞬間、
女は服を脱ぎ始める」

スライド「男は眠気に襲われ、」

ミチコ、下着一枚になる。

スライド「女は一人つぶやく」

ミチコ

私はどうしたらいいの？・

ミチコ、テレビを見ながら服を着替えようとしている。ミチコの義母、シズエが背中に箆笥を背負って現れる。シズエ、テレビを消す。

ミチコ あ。

シズエ 何このコマーシャル。どうしてフィリピンバナナの宣伝に女の下着姿が出てくるの？

ミチコ フィリピンじゃなくてハリユピンなんですよ。

シズエ ミチコさん。

ミチコ はい。あ、ちよっと待ってもらえます。

シズエ 待てません。

ミチコ 服、着たいんですけど。

シズエ ええからここにすわり。

ミチコ はい。

シズエ えらいだるそうな顔してるね。

ミチコ 仕事帰りなんで。

シズエ 仕事？何の仕事。

ミチコ 前も言いましたけど、工場です。

シズエ それ、余計なヒトコトちゃうの。

ミチコ え？

シズエ 前にも言いましたけど、つて余計なヒトコトちゃうの。その言葉のウラには『何べん言わせるんですか』もしくは『このボケ老人が』さらには『お前の息子の稼ぎが悪いからわしが工場な

のおいぼれが』という言葉が存在するんじゃないのもしかして。

ミチコ
すいません。

シズエ
何？すいませんってことは当たってるってこと？

そういう風に思ってるということ？

ミチコ
いえ、そうじゃないんですけど、そう思わせて

してもすいませんと。

シズエ
はよ本題に入らせて。

どうぞ。

ミチコ
あんた。

シズエ
はい。

ミチコ
あんた。

シズエ
はい。

シズエ、ポケットからメモを取り出す。

ミチコ
なんでもメモしておくて便利ですよね。

シズエ
私忘れっぽいのごめんなさいね。

ミチコ
はい。

シズエ
ミチコさん今日私の部屋に勝手に入ってない？

と書いてあるわ。

ミチコ
入ってません。

シズエ
ほんまに入ってない？

ミチコ
入ってません。

シズエ
ほんまにほんまにほんまにほんまに、入ってない？

ミチコ
おばあちゃん。

シズエ
おばあちゃんて誰の事。

ミチコ
すいません。

ミチコ 入ってません。
シズエ ほんならなんで、箆笥がちよつと開いてるんかな。

間

ミチコ さあ。
シズエ とはけんといて！
ミチコ とぼけてません。
シズエ 箆笥がちよつと開いてるんよ箆笥が。
ミチコ そら、おばあちゃんが背中をこうそらしたら開くんちやいます？
シズエ 人をボケ老人みたいにゆうてから。私は開けたら閉める開けたら閉める大正生まれのきちきちつとした性格なんや！
ミチコ 怒鳴らないで下さい。
シズエ 部屋には入ってないんやね。
ミチコ はい。
シズエ ほんならなんで箆笥の中のお金が千円足りひんのやろ。

間

ミチコ さあ。
シズエ さあとちやうでしよ、さあと。
ミチコ でもほんまに知りませんし。
シズエ 知りませんで済んだら憲兵いらんわ！
ミチコ おばあちゃん今は憲兵なんかいませんよ。
シズエ おばあちゃんって誰！

シズエ なに。

ミチコ 背中に背負ってるのは何ですか？

シズエ え？

ミチコ お義母さんが今背中に背負ってるのは、なんですか？

シズエ 何を狙ってるの？

ミチコ え？

シズエ あんた何を狙ってるの？もしや私をボケ老人に仕立て上げて財産全部ぼったくろうとしているんじゃないやろね。騙されへんよ。

ミチコ そうじゃなくて。今お義母さんが背中に背負ってるのは箆筒でしょう？

シズエ なんでわかる。

ミチコ 見たらわかります。

シズエ ……

ミチコ 朝から晩まで背負って、寝る時もベッド代わりにしてるような箆筒、私かどうやって開けるんですか。

シズエ フッフ。

ミチコ ？

シズエ 上手いことゆうて。そんなことで私か騙されるとでも思ってるの？

ミチコ 騙されるも何も、背負ってるじゃないですか。

シズエ 私がお風呂人ってる時や！

ミチコ はあ。

シズエ 脱衣所にあった私の箆筒の引出しを開けて中から千円盗み出したのはミチコさん、あんたやろ。

ミチコ、去る。

シズエ 逃げる気か！

と叫びながらシズエは義母から夫へと
変わる。ミチコ、入ってくる。

ミチコ ちよつと、おばあちゃんなんとかして。

夫 なに。

ミチコ 私がおばあちゃんの箆笥勝手に開けてお金盗ん
だつて言うねん。

夫 盗んだんか？

ミチコ え？

夫 いや、身に覚えはあるんか？

ミチコ あるわけないやろ？

夫 ほならそう言うたらええ。

ミチコ そうやね。

夫 プレゼントフォーユー。

夫、バナナの絵をミチコの体に貼り付
ける。

ミチコ 何これ。

夫 お前とお母さんのヒステリー。を抑えるおまじ
ない。

夫、次々にバナナの絵を描きつづけ、
ミチコの体に貼っていく。バナナの絵
に隠れるミチコの体。

夫 アーティスティックや。じつとしてて。バナナ

佛とさせ、ゼロになれない僕らの切なく小さな
哀しみがそこから沁み出してくる、0.1、0.01、
0.001。

夫、ミチコをモデルに絵を描き始める。
犬とマイコ、警備室のテレビを盗み見
ている。マイコ、テレビに感動して泣
き始める。

犬 頼むから泣かんといて。静かにせんと見つかる
から。

マイコ2 だってむちゃくちゃかわいいそうやん。

犬 どころが？

マイコ2 あんな、あの人は奥さんでな、あの人はだんな
さんでな、奥さんはだんなさんに助けを求めて
るんやけどな、だんなさんはおばあちゃんの見
方ばっかりすんねん。

犬 うん。それは見たらわかる。

マイコ2 でもな、だんなさんは悪い人じゃないねん。

犬 ちよつと、あんたも泣き止んで！

マイコ1 ……

マイコ2 チャツピーは、悲しくないの？

犬 なんでバナナの絵を体に貼るんかっていう疑問
くらいしか湧いてこうへん。

マイコ2 犬のくせに冷めてるね。

犬 そんな事無いよ。熱いぞワンワン。

マイコ2 私の知ってる犬はもつと情熱的よ。千切れそう
なくらい尻尾振って舌出して、笑いかけてくる
もん。

犬 切り替え早いなあ。

マイコ1 ここから逃げ出す方法考えなあかんから。

マイコ2 マイコ、別にここにおってもいいねんけどなあ。

犬 どっちなん？

マイコ1 両方自分の正直な気持ち。でも私は早く帰りたい。

マイコ2 ここにおってもいい。

犬 どっちなん。

マイコ1 だから両方私の正直な気持ちゆうてるやろ！

マイコ2 チャツピー家帰らへんで大丈夫なん？

犬 うん、どうせ後で迎えに来るから。

間

マイコ1・2 ……。

犬 いや、迎えにこうへん、かもしれん。

マイコ1 どっちやねんな！

警備室にいたマスジロウ、少し姿勢を変えてしゃべり出す。

マスジロウ 昨日はSさんと少し粘り強く話をしてみた。

琴線に触れる言葉を発すると、彼女は急に私の存在を認識する。けれどもしばらくするとまたすぐ、自分の世界へと戻っていく。どうやら私のことを、ここに無理やりつれてきた悪い人間だと思っている様子。近くに寄って見たが、一年間風呂に入っていないわりには何の臭いもしなかった。他の患者が風呂に入っている間に、

だとしたら、私がそれを手伝ってもいいのかもしれない。そう思つて、今日風呂の時間にSさんの部屋に行つてみたら、彼女はぐっすりと眠つていた。私か来ることを察知して、狸寝入りをしていたのだろうか。そのままSさんの部屋には行かなかつた。夜中の巡回時、Sさんがいなくなつた。就寝時に見に行かなかつたのが災いした。あわてて探し回ると、SさんはMさんの部屋のベッドの中にいた。二人は抱き合つて寝ていた。朝方交代の直前に起こしてこっそり部屋につれて帰つた。ようやく自室のベッドに寝かせると、Sさんは少し哀しそうな目をしてごめんなさいねとつぶやいた。

犬・マイコ1・2 ……

マスジロウ これほね、僕の娘がここに忘れていった日記でね。ここでぼーっとしてるのも退屈やから、ちよつと読んでみたら面白くてね。

間

マスジロウ 聞いてるか。

犬・マイコ はい！

マスジロウ 工場の中に犬は連れて入ったらあかんよ。

マイコ1・2 はい！すぐ始末します！

犬 ええ？

マイコ1・2 いえ、すぐ捨てに行きます。

犬 なんでそんな時だけ意見が一致すんの？

マスジロウ その犬、なんて言う名前。

マイコ2 チャッピです。

犬 ……

マスジロウ ほんまにチャツピーか？

犬 違う名前にしてほしかった。

マスジロウ 僕の娘が今訪問してる家もね、犬を飼っているらしくてね。

マイコ2 はい。

マスジロウ 太郎っていうらしいねんけど、これがなかなかついてくれへんらしくてね。

犬 ……

マスジロウ 娘はね、介護福祉士なんや。

マイコ2 立派な娘さんですね。

マスジロウ 娘はね、かわいすぎて。娘にやったら食べられてもいいかなって思う。

犬 ……

マスジロウ 誤解せんといてや。あくまでも、食べられてしまう状況やったとしたら、の話やで。

犬 どんな状況なんそれ。

マイコ1 行こう。

マスジロウ 娘はね、犬には嫌われてるけど、そこのおばあちゃんには相当気に入られててね。

マイコ1 早く行こう。

マスジロウ 娘はね、一生懸命仕事をするからね、しかも人のために一生懸命になる子やからね、せやから気に入られるんやと僕は思うんやけどね。

マイコ1 早く！

マスジロウ 娘はね！

間

をしてるはずや。

その娘とおぼしき女性が非常に派手な格好で犬の飼われている家の前に立っている。

犬とマイコ、警備室から逃げ出す。

犬 あの人誰なん？警備員のおっちゃん？

マイコ1 わからん、はじめてみた。

マイコ2 おなかすいた。

マイコ1 とかいうてる場合じゃないな。

マイコ2 おなかすいた。

マイコ1 けどとりあえず隠れるとこ見つけな。

犬 ミチコが来た！マイコちゃん隠れて。

マイコ2、いつのまにか、いなくなる。
いや、犬とマイコ1が警備室から出て
しまい、マイコ2は警備室に残ったの
である。そこへミチコが犬を迎えに
来る。

ミチコ 太郎。

犬 太郎って呼ぶな。

ミチコ さあ、帰ろう。

犬 僕、家からご飯もらって帰ってくるから。

ミチコ え？

犬 そこで隠れといて。絶対戻ってくるから。

ミチコ 太郎？

犬 太郎って呼ぶな、しつこいな。

ミチコと犬、自宅へ向かう。

マイコ1 そうや、チャツピーについていったらここから出られるんちゃうん。

マイコ1、ミチコと犬の後を追う。一方エリコ、服を着替えはじめる。人々、バナナを食べる。

スライド「バナナを食べることがセツクスすることと仮定すると」人々。バナナを放り投げる。

スライド「バナナを食べ終えた瞬間、女は服を着替え始める」人々、エリコを残して去る。

スライド「男は眠気に襲われ」エリコ、捨てられたバナナの皮を見つめる。

スライド「女はひとりつぶやく」

エリコ こんにちは！デイケアにきました。

エリコの格好は、先ほどとは打って変わって清純そうである。奥からシズエが現れる。

シズエ あらあ。エリコちゃんご苦労さん。

エリコ どうですか？お体の調子。

シズエ エリコちゃんが来る思ったらもう、元気元氣さ、あがつて。

シズエ 嫁がね、全然家の掃除せえへんもんやからちらかってて。ごめんね。

エリコ そんな、きれいですよ。うちと比べたら全然。

シズエ エリコちゃんも部屋片付けるの、嫌い？

エリコ あんまり好きじゃないです。

シズエ ほんなら今度、私か掃除しにいったあげる。

エリコ ほんまですか？

シズエ お昆布があるのよ。もらいもんやけど。それとこれ、嫁にあげた服やけどもうきいひんみたいやし、これが鮭のフレーク。便利やねえ、今はこうやってフレークゆうの？ほぐした状態で売ってるんやもんね。あ、そうそう、これ、バナナ。私もう食べられへんから、どうぞ。

エリコ いいんですか？

シズエ エリコちゃんが来たらあげようおもてとつといたんよ。(小声で) 嫁には内緒。

エリコ ありがとうございます。

シズエ 桃レンジャーのお仕事のほうは、どう？

エリコ え？あ！今日も戦ってきました！

シズエ あらそう。大変やねえ。今日は何人倒したの。

エリコ 5人くらい。でもまだまだこの世には悪が蔓延ってます。

シズエ こわ。うちに襲ってきたらどうしよう。

エリコ すぐ呼んでください。助けにきますから。

シズエ それやったら安心。そうや。

シズエ、奥から何かを持ってくる。それは桃レンジャーになったエリコが拡大され、立体化されたもの。

エリコ うわ。

シズエ この前エリコちゃんが桃レンジャーになつてるときの写真くれたでしょ。それを引き伸ばしてつくってもらったの。息子に頼んで。

エリコ 息子さん、上手につくらはりますね。

シズエ 一応アーチストなんよ。絵描いたりね、なんかわけわからんもんつくってよう展示会してるわへえ。

エリコ これがあつたら私も安心。ショツカーが襲つてきても、これ見たら逃げるでしょ。

エリコ シズエさん、ショツカーは仮面ライダー1ですよ。あら、そうやったかな。

エリコ はい。

シズエ 大丈夫？嫁入り前やのに、顔に傷がついたら大変。

エリコ 戦う時はこの格好してますから、大丈夫です。

シズエ そうやね。

エリコ はい。

シズエ エリコちゃん、一つお願いがあるんやけど。

エリコ なんですか。

シズエ もしショツカー1が襲つてきたら、の話やねんけど。

エリコ だからショツカーは仮面ライダー、

シズエ 合言葉。つくつといてくれへんかな。

エリコ 合言葉？

シズエ 実はこの桃レンジャーの中に小型内蔵カメラを仕込んであるのよ、嫁には内緒やで。で、何かあつたらセコムの方に通じるようになってるんやけどね。

シズエ やっぱりセコムだけやったら心配やし、大体セ
コムのお兄ちゃんにショッカーが倒せるんかっ
ていう話やん？

エリコ だからシズエさんショッカーは、
シズエ せやし合言葉。ショッカー1にばれへんような言
葉を私が叫んだら、すぐに桃レンジャーが助け
に来る、つまりセコムと桃レンジャーのダブル
装備やね。

エリコ ……。
シズエ なんにしよかな。桃レンジャー！って叫んだ
らすぐにショッカーに殺されそうでしょ。

エリコ うーん。
シズエ (娘の持つバナナを見て) バナナ。バナナ。バ
ナナを食べています。つてのはどう？

エリコ バナナですか。
シズエ そうしよ。バナナを食べています。これ、合言
葉。ちよつと練習してみるで。バナナを食べて
います。バナナを食べています。

祖母、合言葉を言うたびに桃レンジャ
ーを動かして練習する。そこへ犬とミ
チコが帰ってくる。

ミチコ ただいま。

シズエ ……
エリコ お邪魔してます。

ミチコ こんにちは。
シズエ ミチコさん、ちよつとお茶いれてくれる？
ミチコ はい。

ミチコ、出ていく。

シズエ 太郎どうしたん、息切らして。

エリコ 犬やしちやいます？

犬 ちやうわボケ！

シズエ 太郎！ほえたらあかん！

犬 ……

シズエ ここおすわりしなさい。

エリコ それで、入所の日取りなんですけど。

シズエ そうやねえ。私は今すぐにでも行きたいんやけど。

エリコ お金の方は、大丈夫ですか？

シズエ そんなん任しといて。この箆笥の中に、ぎょうさん入ってるんや。

エリコ へえ。

シズエ 私はこの箆笥さえあつたら生活できるから、すぐにでも移動できるんやけど。

エリコ そうしたら来週の月曜日でどうでしょう。

シズエ うん。

エリコ 都合、悪いですか？

シズエ 太郎をね、どうしようかなと思って。

エリコ ああ。

間

シズエ かまへん、なんとか始末するわ。

犬 ええ？

シズエ 始末で、この問題をやで。あんたを始末するんちやうで。

エリコ　ほんならその話、院長に今日しておきますし。
シズエ　お願いします。

エリコ　シズエさん、今日ちよつと今からいかなあかん
ところがあつて。

シズエ　かまへんかまへん。うちには桃レンジャーがつ
いてるから。

エリコ　すいません。

シズエ　次はいつきてくれるんやったかな。

エリコ　日曜日になりますね。

シズエ　そうか。そしたらそこまで送つていこか。

シズエ、エリコを送り出す。シズエ、
部屋に戻り桃レンジャーを見て鼻をす
すりはじめる。

シズエ　私、やっぱり今から行くわ。

犬　え？

シズエ　この箆笥と桃レンジャーと、あとは歯ブラシと
茶碗だけで準備OKや。

シズエ、出ていく準備を始める。犬、
思い立ったように出て行き、エリコが
服を着替えている場面に遭遇する。一
方警備室でも、マスジロウが鼻をすす
っている。そしてそこにはマイコ2が
いた。

マイコ2　おっちゃん、なんで泣いてるの？

マスジロウ　ちよつと思ひ出したんや。

マスジロウ 奥さんのことをな。

マイコ2 奥さん？

マスジロウ 娘は奥さんそっくりやからな。娘の顔みると奥さんのこと思い出してしまうんや？

マイコ2 ……私はおっちゃんの娘ちゃうよ。

マスジロウ なんか描く紙もってへんか。

マイコ2 え？

マスジロウ 顔を描きたい。

マイコ2、地図を渡す。マスジロウ、地図の裏側にマイコ2の絵を描き始める。

マイコ2 奥さんは今なにしたはんの？

マスジロウ なにしたはんねやろう。

マイコ2 え？

マスジロウ 僕が絵ばっかり描いてるから、どっかいつてもしもたんや。

マイコ2 ……。

マスジロウ 買い物行ってきますって言うからな、返事もせんと待ってたんや。ほんなら夜になっても夜中になっても朝になっても帰ってこうへん。事故でも起こしたんちゃうかと思って警察に行つたけど、どこにもそんな事故はあらへん。言い出し辛かったんやろうなあ。僕の顔みたらいつつも、なんか言いたそうな顔して黙ってたもんなあ。

マイコ2 さがさへんの？

マスジロウ 僕のあげたもん全部家においていったからな。

マスジロウ 捜して見つけ出しても、多分もう帰ってきてくれへんと思うんや。
マイコ2 返事せんかったしや。
マスジロウ うん。そうやなあ。

間

マスジロウ 眼鏡、どうしたかなあ。
マイコ2 眼鏡？
マスジロウ 奥さんにあげた眼鏡。それだけ、どこ探してもあらへんかったんあ。
マイコ2 奥さん、眼鏡だけ持って行ってくれたんや。

工場長が現れる。

工場長 それがこの愛のマスジロウ眼鏡よ。
マイコ2 あ。

工場長 マイコちゃん探したよ。まさかここにおるとはおもわへんかったわ。

マイコ2 ごめんなさい。
マスジロウ どうですか、ハリユピンバナナの売れ行きは。
工場長 やっぱりマスジロウ眼鏡の普及率が大変低いよ
うで。

マスジロウ そうですか。

工場長 バナナよりも先に、この愛の眼鏡を認知させることが先決ではないかと思われます。眼鏡さえあればバナナは飛ぶように売れるでしょうし。
マスジロウ そうですねえ。

工場長 頑張りますよ。うちには強力なコマーシャル女

マイコ2 はい。

工場長 あれ？マイコちゃん、元気ないね。

マイコ2 お腹がすいちゃって。

工場長 そうや、今日はここで一緒にお昼頂いてもかまいませんか、マスジロウさん。

マイコ2 マスジロウさん？

工場長 そうよ、この方マスジロウさんて言うのよ。

マイコ2 マスジロウさんがなんで警備室にいるの？

マスジロウ 暇やからね。そのほうが人件費も安くつくでしよ。

工場長 そんな堅実さも小売業者の鉄則やね。

マスジロウ お昼にしましようか。

工場長 はい。

工場長、もってきたお弁当箱を開ける。

そこにはバナナが。

工場長 今日はちよつと豪勢なお昼ご飯よ。

マスジロウ おいしそうですね。

工場長 丹精こめて作ってきましたから。これがうちで漬けてるバナナでしょ、これは新潟特産コシヒカリを使用したバナナ、バナナのから揚げにバナナの煮物、デザートは、バナナ。

マイコ2 バナナばかりやん。

間

工場長 眼鏡かけなさい、眼鏡！・

マスジロウ 何年ぶりでしょう、こんな風に誰かと食卓を

工場長　いつもお1人ですもんね。たまにはいいもんでしよう、こうやって食べるのも。

マスジロウ　おいしいです。ほんとに、おいしいです。

工場長　マイコちゃん。これから毎日、ここでお昼食べましょう。

マスジロウ　それはうれしいですね。

工場長　うちら、同士なんやから、これから厳しいバナナ業界の荒波をわたっていく、同士なんやから。

マイコ2　バナナにマイコは必要なん？

工場長　え？

マイコ2　このバナナ工場に、マイコはいる意味があるの？

間

工場長　あるに決まってるやん。この工場に、いなくて良い人なんていません。

三人、沈黙してお昼ご飯を食べ続ける。
一方家の前ではエリコが再び派手な格好に戻っている。

犬　人でなし！

エリコ　ええ？

犬　なんでそんな格好してるんや。

エリコ　なんでで、普通やん。

犬　うちのおばあちゃん、騙してるやろ！

エリコ　人聞きの悪いこといわんといて。

犬　僕は騙されへんぞ。そんな、自己主張しまくり

エリコ あんた、人を色眼鏡で見るの、やめたら？こういう格好してるからって人を騙してると思ってるのは単細胞である証拠よ。

犬 ほんなら、桃レンジャーってなんやねん。

エリコ ……

犬 うちのおばあちゃん、お前がほんまに桃レンジャーで正義の味方やと信じ込んでるんやぞ。それ、騙してるといわへんのか！

エリコ 私、ほんまに桃レンジャーやで。

犬 そんなん信じろわけないやろ。

エリコ 昼間はおじいちゃんおばあちゃんの家訪問して、夕方から桃レンジャーになるねん。

犬 人を馬鹿にするのもいい加減にしろ。

エリコ 犬やろ。

間

犬 一緒や！馬鹿にされたら犬かて怒るんや。

エリコ シズエさんが一番上なん？犬ってさ、家族の中でランク付けするんでしょ。一番はシズエさんなん？

犬 そんなんちゃうわ。そんなんちゃうけど、おばあちゃんはまだおばあちゃんなんや。

エリコ わかってるよ。

犬 おばあちゃんは純粋な人なんや。老人を騙すやつは、人でなしや！

そこへ青レンジャーが現れる。

エリコ あ、おはようさん。

青レンジャー 行こうか。

エリコ あんた、その格好で電車のつてきたん？

青レンジャー だって邪魔くさいねんもん、更衣室狭いし。

エリコ そらせや。

青レンジャー あ、日記な。

エリコ そうそう。

青レンジャー なかったで、どこにも。

エリコ そうか。どこに忘れてきたんやろう。

青レンジャー あれ無いとやばいなあ。一応提出やろ。

エリコ そう。工場ついたら一緒に探してくれる？

青レンジャー ええけど。

犬 ……

エリコ ほんならまた日曜日。シズエさんによろしく言
つといて。

エリコ、青レンジャー、去る。そこへ
シズエ、現れる。

シズエ 太郎。あんたは今日から野良犬や。

犬 え？

シズエ 私のこと大切にしてくれる人間を人でなしと呼
ぶような犬に、もう用はない。

犬 おばあちゃん。

シズエ というのはウソや。寒いやろ。はよ中入り。私
がおらんようになってもな、ミチコさんにちや
んとあんたの面倒見てくれるようにゆうといた
から。

犬 おばあちゃん。

犬 え？

シズエ あんたをおいてどこへもいけるかいな。もちろ

んミチコさんなんか任せられるわけがない。

おばあちゃんは当分、この家からは出られへん。

犬 おばあちゃん。

ミチコが呼びにくる。

ミチコ おばあちゃん、お茶入りましたけど。

シズエ おばあちゃんて誰。

ミチコ すいません。

シズエ 遅いわ、むちやくちや遅いわ。エリコちゃんと
つくに帰ったわ。

ミチコ バナナ食べはります？

シズエ そんなもん食べられるかいな。

シズエは部屋に入ってしまう。

ミチコ もう……

犬 なんでバナナやねん。バナナしか無いんか。

ミチコ あ、おいしいわ。

犬 なあ、バナナ以外の食べもん、無いの？

ミチコ ほんま、おいしいわ。

犬 ほんまにないの？

ミチコ、シズエのために用意したバナナを食べ続ける。一方、犬についてきたはずのマイコが道に迷っていた。そこらじゅうにバナナを食べている人々

ったのだと悟る。

マイコ1

あのカド、曲がったらまたカド、曲がったらまたカド、曲がったらまたカド、右は行き止まり、

と、そこは突如として老人ホームと化す。

院長

はい、ここで女の下着姿とバナナのパラドックス方程式を解いていただきましょう。ただし、問題に答えるにはバナナを一本食べてから、がルールです。では行きます。問題。バナナは何故黄色いのでしょうか。

老人1

黄色の信号は点滅やから。

老人2

それはバナナの財産やから。

老人3

バナナを色眼鏡で見てるから。

老人4

人件費が浮くから。

老人5

小売業者の鉄則やから。

老人6

ちよつとくさいから。

老人7

そうなん？

老人8

バナナやから。

院長

次行きます。絶対バナナ一本食べてから答えてくださいね。問題。女の下着姿は何故色っぽいのでしょうか。

老人1

女の信号は誘惑してるから。

老人2

それは女の財産やから。

老人3

女を色眼鏡で見てるから。

老人4

人件費が浮くから。

老人5

小売業者の鉄則やから。

老人フ

そうなん？

老人8

女やから。

院長

バナナを一本食べてから、がルールです。これがルールです。そんな簡単にやぶらんといて。問題出してる方の身にもなって。最後の問題行きます。問題。バナナにはどうして女の下着姿が必要なのでしょう。

院長

あれ？なんでみんな答ええないの？あれ？答えてくれないと、私困っちゃう。簡単でしょ？・どうして女の下着姿にバナナが必要なのか、簡単でしょ？バナナが良く売れるからです。あ、言っちゃった。バナナが売れないとどうなりますか？バナナ工場がつぶれたらどうなりますか？・私たちは生活できなくなります。つまり一本でも多くのバナナを売りましょう、そのためには女の下着姿を出しましょう。それでも売れない場合は、マスジロウ眼鏡をかけて、バナナ以外のものを食べられなくしてしましましょう。レモンも黄色いで、という突っ込みはなしにしましょう。バナナしか食べられなくなる眼鏡です。愛の眼鏡、愛の眼鏡、愛の眼鏡を売りましょう。それでどうしてシズエさんは入所を渋っているんですか？

間

緑レンジャー 息子の事が気にかかるからです。

桃レンジャー 犬の事が気にかかるからです。

青レンジャー 両方です。

院長 では息子はミチコさんに任せます。いいですね。
緑レンジャー はい。

院長 犬は、

桃レンジャー マイコに任せましょう。

院長 マイコ。そうですね。マイコに任せましょう。

院長、緑レンジャー、去る。老人ホー
ムは消え去り、工場についた桃レンジ
ャーと青レンジャーがいた。

桃レンジャー こういう密談があつたんやろって言うね
ん。

青レンジャー 密談つて、面白いこと言わはんなあ。

桃レンジャー とりあえず私は悪者やねんな。うちをこん
なところに閉じ込めてつて毎日毎日。

青レンジャー ……それも日記に書いてんの？・

桃レンジャー そうやねん。

そこに迷ったマイコ1が現れる。

桃レンジャー マイコ、どうしたん？

青レンジャー マイコちゃん？

マイコ1 ……

桃レンジャー 一緒に戻ろうか。

マイコ1 いやや。

桃レンジャー でもこんなところにいたらかぜひくよ。

青レンジャー 部屋戻つて、バナナ食べよう、ね。

マイコ1 散歩もさしてくれへんの！

青レンジャー ……ここやったら大丈夫やろ。行こう。日記さがさな。

桃レンジャー、青レンジャー、去る。

マイコ1、一人残される。

マイコ1 あのカド、曲がったらまたカド、曲がったらまたカド、曲がったらまたカド、右は行き止まり、

そこに犬が戻ってくる。

犬 あかんかった。うちにもバナナしかなかった。

マイコ1 チャツピー。

犬 どうしたん？

マイコ1 よかった。このままずっとここで一人かと思っ
た。

犬 どうしたん？マイコちゃん。

マイコ1 チャツピーについていこうとしてんけどな、あ
のカド、曲がったらまたカドで、

犬 なんで1人なん？

マイコ1 ……え？

犬 マイコちゃん、なんで1人なん。

マイコ1 何言うてんの？マイコはずっと一人やで。

犬 マイコちゃん……

マイコ1 マイコはずっと一人やで。一人で、ずっと歩いてたんや。

マスジロウ、再び日記を読み出す。

マスジロウ 夜中、またSさんがいなくなる。案の定Mさんの部屋にいた。Sさんを自室へ連れて行くと、少し強い力で押された。帰りたいたい、帰りたいたと声を荒げるので同室のIさんが驚いて起きだす。なんとかIさんを寝かしつけSさんの方をみると、いつのまにやらぐっすり眠っていた。朝ごはんの後にMさんの部屋にいきSさんの事を聞く。Mさんは健常者だが、車椅子のため一年前に入所してきた。Sさんのことは友達だという。ちよつと失礼かとは思ったが、どうして一緒に寝ていたのかと聞くと、Mさんは黙り込んだ。迷惑でなければいいんですが、と言うと平気だと静かに答えた。Mさんの部屋は一人部屋なので他の患者には影響は無いが、Mさんが平気だと言うのには驚いた。Mさんはほんとうにただの友達のつもりなのだろうか。もしそうではないとしたら、

エリコ、マスジロウの元へ現れる

エリコ おじいちゃん。

マスジロウ エリコ。

マスジロウ、あわてて日記を隠す。

エリコ　元気にしてましたか？

マスジロウ　久しぶりやな。

エリコ　ずっと忙しくて。やっとこれました。

マスジロウ　そうか。

エリコ　でもすぐに出ないといけないんです。

マスジロウ　どこか行くんか？

エリコ　マイコがいなくなっちゃって。今みんなを探してる所なんです。

マスジロウ　そうか。

エリコ　元気そうで良かった。また、来ますね。

マスジロウ　エリコ。

エリコ　はい。

マスジロウ　工場長さんに、頼んで欲しいことがあるんや。

エリコ　なんですか？

マスジロウ　マスジロウ眼鏡をな、もう、売らんと言って欲しいんや。

エリコ　え？

マスジロウ　寂しいんや。エリコのせいとちゃうけどな、

寂しいんや。こんなに寂しいのは、多分、僕が

あのマスジロウ眼鏡を作ったからやと思うようになっつてな。

エリコ　……。

マスジロウ　この人はみんな僕にやさしくしてくれる。

一緒にご飯食べてくれたり、エリコもこうやって会いにきてくれたり、せやけど、僕の寂しさは、一向に減らへんのや。

エリコ　おじいちゃん。

マスジロウ　多分な、あの愛の眼鏡が、

エリコ　おじいちゃん、眼鏡をどうするかは、エリコに

マスジロウ え？

エリコ おじいちゃんが眼鏡をいらないう気持ち、エリコものすごくわかるんです。だけど、このバナナ工場がなくなってしまうたら、生活できなくなる人がたくさん出てきます。簡単には解決はしないの。

マスジロウ うん。

エリコ じっくり考えて、また相談しにきますから、この問題はエリコに任せてください。

マスジロウ 大丈夫か？

エリコ 私、おじいちゃんの娘ですよ。大丈夫。なんとかあります。

エリコ、出ていく。

マスジロウ なんで日記隠してしもたんやろう……。

マスジロウ、一人警備室に残される。
一方家では祖母が夫へ変身。眼鏡を作り始める。そこへミチコ登場。

ミチコ おばあちゃん知らん？

夫 ……

ミチコ なあ、おばあちゃん知らん？

夫 (眼鏡をかけて) 唇だけ赤い！

ミチコ え？

夫 口紅塗ってんねんから当たり前やな。

ミチコ ちよつと。

夫 あかんなあ。難しいなあ。眼鏡つくるんも。

夫 聞いてるよ。

ミチコ じゃあ答えてよ。

夫 お母さん？

ミチコ どこいかはったんやろ。ほんまにもう。

夫 珍しいね、君がお母さん探すなんて。

ミチコ 別に珍しくないよ。必要な時はいつつも探します。

夫 必要な時だけね。

ミチコ 嫌味言わんといてよ。ちよつと、人と話すると
きぐらい手休めたら？

夫 おつと。

ミチコ むつちや高いお金出して買ったブラウスが無い
んよ。どこにも。

夫 はい。

ミチコ おばあちゃんが多分持ち出したんやと思うんよ。
だから探してるんよ。

夫 ……

ミチコ 聞いてる？

夫 お母さんが盗ったってこと？

ミチコ それ以外考えられへんの。まさかあなたが盗る
わけないし。

夫 足跡でも残ってた？・

ミチコ え？

夫 部屋にお母さんの足跡でも残ってた？・

ミチコ そんな残るわけないやろ？

夫 じゃあお母さんかどうかわからへんやん。

ミチコ なにそれ？

夫 だから、証拠も無いのにお母さんを犯人と決め
付けるのはどうかなって言ってる。

間

ミチコ おえ。

夫 どうした？

ミチコ あなたがおばあちゃんそっくりに見えてきた。

夫 (眼鏡をかけて) 全身赤い。OK。

ミチコ ……

夫 プレゼントフォーユー。

ミチコ 何これ。

夫 赤い眼鏡。かけてみて。

ミチコ、おそろおそろ眼鏡をかけてみる。

ミチコ 赤い。

夫 アーティストイックや。じつとしてて

ミチコ 全部赤い。

夫 君はいったん思い込んだら止まらないからね。その眼鏡をプレゼントフォーユー。いつも赤信号でとまっついてほしいという僕の切なく小さな哀しみが、 0.001 その眼鏡から溢れ出し美しいコントラストや。 0.1 、 0.01 、 0.001

夫、眼鏡をかけるミチコの絵を描き始める。

夫 お母さんは僕が食べてしまったよ。

た夫に祖母の着物を着せ始める。

一箇所にうずくまる犬とマイコ1。

犬 どうしたん？

マイコ1 体がぼーつとしてきた。

犬 ……

マイコ1 なんにも食べてへんからかなあ。

犬 おなかすいた？

マイコ1 もう帰れへんのかなあ。

犬 そんなこと無いよ。

マイコ1 私一生ここで暮らすんかなあ。

犬 大丈夫。絶対にマイコちゃんが出られる出口、
見つけるよ。

マイコ1 無い気がすんねん。

犬 ……

マイコ1 出口じゃなくてね、私の帰るところが、もう無
い気がすんねん。

犬 マイコちゃん。

マイコ1 さつきもチャツピーについていったはずなのに、
どこまで行ってもバナナを食べてる人だらけや
った。歩いてても歩いてても、ここは永遠にバナナ
工場やった。

犬 ……。

マイコ1、横たわる。

犬 マイコちゃん。

死んだりしいひんよ。

犬 ……。

マイコ1 寝て、次日覚めた時は、チャツピーと同じ犬に
生まれたいなあ。

犬 え？

マイコ1 だってずっと一緒にいれるやん。

間

犬 マイコちゃんは、僕のおばあちゃんと一緒やね
んな。

マイコ1 なんで？

犬 僕がいる限り、おばあちゃんは家から出られへ
んねん。僕はおばあちゃんのバナナ工場なんや。

マイコ1 違うよ。

犬 なんで？

マイコ1 だっておばあちゃんはチャツピーの事が好きや
ろ。

犬 ……。

マイコ1 大丈夫。おばあちゃんは多分、今ごろ仕合せよ。
きっと、チャツピーが帰ってくるの待ってるよ。
私は、ここで、そう祈るところ。

ミチコ、夫に祖母の服を着せ終え、立たせる。そこへ工場長が現れる。

工場長 シズエさんですか。

シズエ はい。

工場長 初めまして。私がここの院長です。

シズエ あら、あらまあ、よろしくお願ひします。

工場長 持ち物はそれだけですか？

シズエ はい。ここに全部詰め込んであります。

工場長 それじゃこちらへどうぞ。

シズエ、一步足を踏み入れると、そこはバナナ工場。バナナを食べる人々が立っている。

シズエ ……

工場長 ここが、今日からシズエさんが暮らしていく所です。

シズエ ここは。

工場長 設備はおそらく日本一です。最初に諸経費として少し大きな金額をご入金いただきましたでしょう。全て、この設備のお金なんです。エレベーター、冷暖房 完備、快適に生活して頂くための準備は万端です。また春はひなまつり夏はプール、秋は運動会冬は学芸会、老人の方々が一年中退屈しないように、催し物も充実しています。今はちようどほら、春の催し物の一

どね。

シズエ　ここはあの、

工場長　その荷物も結構です。明日の朝一番に、ゴミに出しましょう。

工場長、シズエの筆筒を取ろうとする
がシズエは渡さない。

工場長　どうしました？

シズエ　バナナを食べています。

工場長　このバナナはね、うちで作っているハリユピンバナナっていうんですよ。

シズエ　みんな、バナナを食べています。

工場長　バナナはバナナなんですけどね、
シズエ　どうして、

工場長　じゃあひとまずお部屋に入っていただけまし
うか。

シズエ　バナナを食べています！バナナを食べています
！

工場長　落ち着いて。シズエさんも少し休憩したら、一
緒に遊びましょうね。

シズエ　バナナを食べています！バナナを食べています
！

工場長　シズエさん？

シズエ　バナナを食べていますH！！

マイコを探していた桃レンジャー（エ
リコ）と青レンジャーがバナナを食べ
るのをやめる。

エリコ おえ。

青レンジャー ちよつと食べ過ぎちやう？休んだら？

エリコ 無理。

青レンジャー 腹壊すぞ。

エリコ 壊さへんよ、おいしいのに。

青レンジャー ……。

エリコ これ食べたら、日記探しにいらぬ。

青レンジャー うん。

エリコ どこ行ったんやろう、ほんま。

青レンジャー もう拾われてるかもしれへんな。

エリコ そんな怖いこと言わんといてよ。

青レンジャー だってそれ以外考えられへんやん。

エリコ 困ったなあ、もう一回同じこと書けって言

われても書けへんしなあ。

青レンジャー 僕の、写す？

エリコ は？

青レンジャー 冗談やけど。

エリコ おもんない。

青レンジャー ……

エリコ もういいわ。ご馳走様。

青レンジャー 怒った？

エリコ そんなしょうもないことで怒るか。

青レンジャー 怒ってるやん。

エリコ もういいって、しつこい。

そこに工場長が現れる。

工場長 シズエさん見てない？・

エリコ (あわててバナナを隠し) みてません。

工場長　どっち？

エリコ　ええ？

青レンジャー　僕だけ、みました。

工場長　おらへんのよ。どこさがしても。

青レンジャー　さっきは散歩してはったんですけど、……

中庭やっただけ？・

エリコ　知らんやん、私は。

工場長　とにかく一緒に捜してくれる？ほっといたら何
するかわからへんから。

エリコ　え？

工場長　ほら、あの人この前、男の患者さんに噛み付い
たりしてるやん。

エリコ　あれは違うんです。

工場長　違ふとかじゃなくって、何か起こるかわからへ
んでしょ、

エリコ　はい……。

工場長　中庭の方もう1回みてきてくれる？

青レンジャー　はい。

三人、シズエを捜し始める。

マイコ1にかわってマイコ2が目覚
ます。

犬 マイコちゃんI

マイコ2 チャツピー。

犬 良かった。ほんまに心配したんやから。

マイコ2 ん？

犬 説明してもわかってもらえへんと思うけど、と
にかく、心配したんや。

マイコ2 あれしよう。空。太陽の日差し。暖かい空気。
一面に広がる春の雲。こうやって、寝転んでた
ら、ほら、何にも食べて無くても合わせって言
う気分になる やん。

犬 うん。

マイコ2 空。太陽の日差し。暖かい空気。一面に広がる
春の雲。

犬 マイコちゃん、僕と逃げたこと後悔してる？

マイコ2 気にしてんの？

犬 え？

マイコ2 さっきマイコが言ったこと、気にしてんの？

犬 ……。

マイコ2 大丈夫やで。マイコは、今でも充分合わせやか
ら。仕合せてね、運命ってことやと思うの。
お腹一杯になることとか、そういうことじやな
くて、自然のままの運命ってことやと思うの。

マイコ2 え？

犬 マイコちゃんはもともと一人やったんかなあ。

マイコ2 何それ、どういうこと？

犬 説明してもわかってもらえへんと思うけど。

間

マイコ2 マイコはチャッピーに出会えて仕合せやと思ってるよ。

犬 ……

マイコ2 だってチャッピーに会うまで忘れてたもん。昔のこと。マイコは、昔ハルピンに住んでたんよ。ハルピン？

マイコ2 中国の山の奥のほう。ちっちゃい頃、工場で働く女の子が欲しいって行って、あのリヤカ1の女の人がマイコを迎えにきてん。マイコはほんまに、工場で働けるんやと思っつて、それならハルピンに住んでるお父さんとお母さんに仕送りもできるなって思っつて、そう思っつてここに来たのに、実際マイコに与えられた仕事は、下着姿になっつてバナナを売ることやった。…あの時、そうや、思っつた。マイコはハルピンに帰りたいたいと思っつた。夢中でハルピンまで走っつて、手を伸ばしたら、その手、お父さんとお母さんが一つづつ掴んで、マイコをぎゅつと握り締めてくれた。

犬 ……。

マイコ2 だから私の帰る場所はここじゃないの。ここで起こること、繰り返し、繰り返し起こることは

界線で起こる小さな感動は、今起きてる現実の前にちよこんと座って黙ってマイコを見てるだけなんよ。

間

犬 いいこと思いついた。

マイコ2 何？

犬 マイコちゃんが元気を取り戻す方法、思いついた。

マイコ2 何なに？

犬 僕を食べて。

マイコ2 え？

犬 マイコちゃん、僕を食べて。

マイコ2 なんで？

犬 マイコちゃんが帰るためにはそれしか無い。

マイコ2 何わけわからんこと言ってるの。

犬 僕、初めて、人間に生まれたいと思ってん。

マイコ2 チャッピ。

犬 僕は犬やから、こんな時食べ物調達することも働いてお金稼ぐことも、マイコちゃんを抱きしめて慰めることもできひん。でも、僕は犬やけど、マイコちゃんのが好きやねん。だから、僕を食べて。

マイコ2 全然意味がわからへん。

犬 僕のお父さんとお母さんはな、チワワとゴールデンレトリバーやのに子供を作ってる。考えられへんやろ。あの体の大ききの違いをどうやって克服したんやろうって悩むやろ。でも僕、生

は生まれてきてん。さらに不思議なことに、僕らはその話を聞いて、「まあ犬同士やからな」って納得してしもてるねん。なんとかして、こう、お父さんが宙に浮いてお母さんのお尻に捕まって交尾したんやろうなって、僕らはその理解できひん事実をなんとかつじつま合わせようとしてしもてるねん。周りの僕たちが、その事実を、ありえへん事実を納得できるように。せやけど、僕とマイコちゃんの場合は犬と人間やから。

マイコ2

チャツピー。

犬

周りの人たちは全員、そんなことは絶対無理って言うやろうから。わからへん、理解できひんって言うやろうから。なんでチワワとゴールデンレトリバーの交尾は理解できて、僕らの恋は理解できひんねんって思うけど。だけど僕はマイコちゃんと一心同体になりたいねん。昔マイコちゃん、僕にゆうたやろ。一心同体になれたら楽しいかもって、僕、ほんまにマイコちゃんと一心同体になりたいねん。

マイコ2

チャツピー。

犬

だから、僕を食べて。

マイコ2

そんなこと、できるわけないやろ。

犬

マイコちゃん、おきて。ご飯やで。マイコちゃん。

犬、マイコ1を起こし、自分を食べさせようとする。

犬

僕をバナナやと思つて。でも僕は本当はバナナじゃないから、マイコちゃんがバナナを売りたいくないという意味はちゃんと尊重したままや。

マイコ2

あかんつて。食べたらあかんつて。

犬

中国では犬食べるんやろ。ハルピンで一番おいしい犬料理の店に多分、勝つと思うねん。

マイコ2

チャッピー！

マイコ1、マイコ2の意思に反して犬を食べ始める。

犬

おいしい？

マイコ1

おいしい。むっちゃおいしい。

犬

愛されるつて、

マイコ2

あかんつて！

犬

愛されるつて、こういうことやねんなあ。

マイコ1、いつのまにか、手や口の周りを真っ赤に染めている。

スライド「バナナを食べることがセックスをすることと仮定すると」

スライド「バナナを食べ終えた瞬間、女は服を着終える」

スライド「男は眠気に襲われ」

スライド「女はひとりつぶやく」

レンジャー達が現れる。

桃レンジャー 赤レンジャー発見しました！

レンジャーたち、マイコ1を連れ去っていく。

マイコ2と犬の死体、残される。そこへ工場長現れる。

工場長 年は？

マイコ2 8歳です。

工場長 使用しているシャンプーの名前は？

マイコ2 ビダルサス1ン。

工場長 趣味は？・

マイコ2 映画鑑賞です。

工場長 最近見た映画は？

マイコ2 アメリ。アメリは笑って泣きました。

工場長 そう。

マイコ2 ……。

工場長 ハルピンの空は、キレイですね。

マイコ2 向こうへ行っても、こんな空ですか？

工場長 ええ。

マイコ2 こんな太陽の日差しですか？

工場長 ええ。

マイコ2 空気は暖かいですか？

工場長 ええ。

マイコ2 こんな風に空一面に、春の雲は広がっています

工場長 大丈夫ですよ。

マイコ2 ……

工場長 マイコちゃん。

マイコ2 マイコ？

工場長 あなたの向こうでの名前です。さあ、行きましよう。

マイコ2 ……

工場長 どうしました？

マイコ2 おいしい、犬料理のお店はありますか。

工場長 ……

工場長、去っていく。マイコ2、犬の横に静かに横たわる。

エピソード

マスジロウ、日記を読み始める。

マスジロウ 三月初めの頃、入浴時、Mさんの体中に菌型を発見した。内出血して紫色になっていた。どうしたのか聞いたしたが、Mさんは答えなかった。私は直感で、Sさんが噛んだのだと思った。私が黙ってMさんの体を洗っていると、小さな声で心配しないでくださいねとつぶやいた。どう返事をしてよいかわからなかったのも黙り込んでしまった。入浴時間が終わった後、院長に相談して、Sさんの入れ歯を私たちの管理下におくことに決めた。それから二日間、Sさんは何も食べなくなってしまった。食事の時間にはちゃんと入れ歯を渡すのだが、食べない。Sさんはみるみるうちにやせ細っていった。それと同時に、Mさんにアルツハイマーの症状が現れ始めた。院長や婦長は車椅子だから仕方が無いと言ったが、私はそれだけが原因ではないような気がした。独断で、Sさんの入れ歯の管理をやめてみた。今日の巡回で、久しぶりにMさんの部屋にいるSさんを発見した。二人とも、これまで見たことの無いような仕合せそうな顔をして眠っていた。院長は、Sさんは何をするかわからないと言ったけれど、SさんはMさんを傷つけるために噛んだのではないと思う。ではどうして噛んだのかと聞かれたら、今の私

全てをリセットして。この仕事をはじめからやり直さなければならぬ、その時、強くそう思った。

そこへシズエが近づいてくる。

シズエ　あの、すいません。

マスジロウ　はい。

マスジロウ　シズエさんですか？

シズエ　あら、どうして。

マスジロウ　僕たちはずっと前から知り合いですよ。挨拶なんてとつくの昔に済ましています。

シズエ　そうやったかしら。

マスジロウ　僕がここに来たのは一年前。シズエさんも同じ頃、偶然一緒に入所したんですよ。

シズエ　私忘れっぽいの、ごめんなさいね。

マスジロウ、日記を置いて、シズエに手を差し出す。その手を握るシズエ。

マスジロウ　僕、初めてあなたに会ったときにこう言いました。

シズエ　はあ。

マスジロウ　ゴールドエンレトリーバーみたいなおばあさんやな。

シズエ　そしたら私が、

マスジロウ・シズエ　チワワみたいなおじいさん。

シズエ、マスジロウの車椅子を押し、

おわり